



山と海は、
つながっている。

第18回

ひろしま「山の日」県民の集いの記録

2019年6月2日(日) 開催
ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会/中国新聞社/中国放送

はじめに

広島は里山の邦と言ってもいいでしょう。 広島の里山は、里、川、まち、そして海ともつながり、多くの恵みをもたらし、命をはぐくんでいます。

人と里山、人と山、里とまち、企業と地域・・・ 竹原市をメイン会場に広島県内 15 の市町 15 会場を結んで、第 18 回ひろしま「山の日」県民の集いを開催いたしました。

これは、その記録です。

●第 18 回ひろしま「山の日」県民の集い 「山の日」宣言

広島県の面積のおよそ 7 割は山です。全国に誇る里山があります。山から湧き出る水は命の源であり、その水が里の稲や野菜を育てています。

山を被う緑の木や草は、新鮮な空気をつくりだしています。

広島の豊かな山で生まれた水は豊かな川となり瀬戸内海や日本海へ注ぎ、魚や貝を育んでいます。

私たちは、6 月の第一日曜日をひろしま「山の日」とし
ひろしま「山の日」県民の集いを県内各地で開催し
山の大切さを訴えています。

ひろしまの里山から、山の大切さを理解し行動する人の輪を拡げ、
山がよくなる運動にしていくことを宣言します。

2019 年 6 月 2 日

ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
会長 前垣壽男

目 次

1	事業のアウトライン	3
2	各会場の記録	
①	竹原市会場:バンブー・ジョイ・ハイランド	4
②	東広島市会場:東広島市憩いの森公園	12
③	廿日市市会場:県立もみのき森林公園	17
④	広島市会場:ひろしま遊学の森(広島県緑化センター)	19
⑤	三原市会場:県立中央森林公園	21
⑥	庄原市会場:国営備北丘陵公園	22
⑦	福山市会場:ふくやまふれ愛ランド	23
⑧	三次市会場:酒屋いこいの森・ほしはら山のがっこう(サテライト)	24
⑨	呉市会場:野呂山(野呂高原ロッジ周辺)	25
⑩	北広島町八幡高原会場:高原の自然館	26
⑪	安芸太田町会場:深入山グリーンシャワー	27
⑫	大竹市会場:マロンの里交流館	28
⑬	世羅町会場:道の駅世羅・せら夢公園	31
⑭	大崎上島町会場:神峰山	34
⑮	江田島市会場:野登呂山(6月8日実施)	35
3	実行委員	36
4	ひろしま「山の日」県民の集いの歩み	38

1. 事業のアウトライン

1 目的	森林ボランティアや民間が中心となり展開してきた、ひろしま「山の日」県民の集いも 18 回目となる。目標の一つとしてきた、「山の日」が平成 28 年 8 月 11 日より国民の祝日になり実現した。将来、広島県内全 23 市町で展開できるよう制定に広島県など行政も加わった県民参加の森づくり運動として、多くの県民が、この日に、身近な山へ入るきっかけをつくることを目的にする
2 日時	2019 年 6 月 2 日(日) 集いの行事 ※江田島市会場では 6/8 に実施
3 場所	広島県内 15 市町 15 会場 竹原市会場(バンブー・ジョイ・ハイランド) 東広島市会場(東広島市憩いの森公園)、廿日市市会場(県立もみのき森林公園)、広島市会場(広島県緑化センター)、三原市会場(県立中央森林公園)、庄原市会場(国営備北丘陵公園)、福山市会場(ふくやまふれ愛ランド)、三次市会場(酒屋いこいの森)、呉市会場(野呂山)、北広島町八幡高原会場(八幡地域)、安芸太田町会場(深入山グリーンシャワー)、大竹市会場(マロンの里交流館)、世羅町会場(道の駅世羅・せら夢公園)、大崎上島町会場(神峰山)、江田島市会場(野登呂山)
4 総参加者	13, 642人 (山の手入れ等参加者1, 202人)
5 主催	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
6 特別協力	ひろしまの森林づくりフォーラム
7 後援	林野庁近畿中国森林管理局、広島県、広島県教育委員会、竹原市、広島市、呉市、三原市、庄原市、国土交通省三次河川国道事務所、備北公園管理センター、福山市、三次市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸太田町、北広島町、世羅町、大崎上島町、江田島市、(公社)国土緑化推進機構、(公社)広島県みどり推進機構、(一社)広島県森林協会、広島県森林組合連合会、(一社)広島県山岳・スポーツクライミング連盟、(公社)日本山岳会広島支部、(一財)全国「山の日」協議会、NHK広島放送局、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島
8 協賛	西条・山と水の環境機構、(株)有斐園、(株)ウッドワン、山陽乳業(株)、JA グループ広島、(株)タカキベーカーリー、大和重工(株)、中国木材(株)、(株)中電工、マツダ(株)、広島県森林組合連合会、尾道商工会議所、神沢精工(株)、クニヒロ(株)、山陽工業(株)、しまなみ信用金庫、東広島商工会議所、広島商工会議所、広島市漁業協同組合、(株)広島バスセンター、福山商工会議所
9 助成	ひろしまの森づくり事業(交付金事業) 「緑の募金」助成事業

2. 各会場の記録 ①竹原市会場 バンブー・ジョイ・ハイランド

全体

■参加人数：4,500人

＜プログラムの状況＞

第18回ひろしま「山の日」県民の集いが竹原市をメイン会場にして県内各地で開催されました。

メイン会場である竹原市会場では、バンブー・ジョイ・ハイランドにおいて開催され、天候にも恵まれ大変多くの来場者で賑わいました。

会場には、竹細工あそび講座や丸太切り&コースターづくりやジビエBBQ試食会、本格バーベキュー講座など販売等のブースが多数出店され多くの来場者の方々が楽しめました。ステージショーでは、終日、地元のアーティストたちがパフォーマンスを披露し来場者を癒してくれました。それから、竹原市企業のアトム株式会社ブースのアトム手袋つめ放題（有料）コーナーは午前の部、午後の部とも多くの来場者が訪れ大変にぎわっておりました。



▲メイン会場の様子



▲今榮敏彦市長 歓迎の挨拶



▲ひろしま「山の日」実行委員会 前垣壽男会長 挨拶

記念植樹

平成31年2月25日（月）に、「大乘小学校」と「莊野小学校」の「緑の少年団」により、桜の記念植樹を行った。令和元年6月2日（日）の竹原市メイン会場の式典で土かけのセレモニーを行った。



▲全員で記念撮影

森林コンサート

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

9時30分から14時30分まで、森林コンサートで会場を盛り上げました。



▲森林コンサートステージの様子



▲会場全体を盛り上げていただきました。

たけはら里山ハイキング

■参加人数：150人

＜プログラムの状況＞

山岳会により事前にコース整備された2コースを、10時00分から12時にかけて、ハイキングをしました。鎮ヶ山を登って帰ってくるコースです。沢山の方が参加され、楽しくハイキングしてました。終了後、炊き出しなどによるおもてなしをしていました。



クッキング& 高山健康ウォーキング

■参加人数：40人

＜プログラムの状況＞

親子料理教室とウォーキングのコラボです。8時20分に集合し、親子で「竹原かぐや巻」をアレンジ料理しました。料理を持って、高山を健康ウォーキングして、お腹を空かせて、おむすびを食べました。



▲親子で料理の様子



▲昼食を楽しみに！ウォーキング

黒滝山を愛する会の活動紹介

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

活動内容のパネルを展示しました。



▲紹介ブースの様子

ひろしま森づくり事業パネル展示と 森を育む紙製飲料容器普及展示

■参加人数：150人

＜プログラムの状況＞

無料で紙製飲料容器に入ったジュースを配布していました。モーリー君が大人気で多数の親子連れが喜んでいました。



▲紹介ブースの様子

防火パネル展示(山火事) ・ 消化体験

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

25年前に竹原市で発生した山火事のパネル展示等を行いました。子ども防火衣試着、煙体験や消火体験等は子供たちに人気でした。



▲防火衣の試着をする子どもたち

豪雨災害パネル・ 自衛隊車輛の展示

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

西日本7月豪雨災害のパネル展示と自衛隊車輛展示を行いました。



▲自衛隊車両の展示

竹細工遊び講座

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

竹とんぼなどの竹細工講座を行い、子供たちが作った竹とんぼの、飛ばし方まで教えました。竹とんぼが空を舞った時には、子供たちはとても喜んでいました。



▲作成した竹とんぼに色を塗っている様子

森のクイズ

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

森に関するクイズに答えて、景品をゲットする。
楽しく森について学ぶ事ができ、親子連れで、多数参加されていました。



▲森のクイズコーナーの様子

オリエンテーリング

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

参加された方には参加賞を渡し、クイズに4問以上正解されたチームには景品を差し上げました。



▲オリエンテーリング受付の様子

木に触れてみよう

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

木のサンプルを展示。触って樹種の違いを感じて頂きました。



▲木のサンプルを展示

丸太切りにチャレンジ

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

木を切る機会が全くないためか、子供たちが大勢参加していました。切った木をコースターとして使用する事も出来ます。



▲丸太切りにチャレンジする親子

グルメコーナー

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

インドカレー、黒鯛の天ぷら、タコの天ぷら、たけの子の天ぷら、峠下牛コロッケ、レモンスカッシュ、クリームソーダー、うどん、タケノコご飯、レタス販売と100人へのレタスのプレゼント。大勢の人で賑わいました。



▲グルメコーナーの様子

アジサイロード整備

■参加人数：20人

＜プログラムの状況＞

商工会議所女性会が継続して、当日もアジサイを植えて整備しました。



▲商工会議所助成会のメンバー

森林整備

■参加人数：50人

＜プログラムの状況＞

尾三森林組合が植樹場所を整備し、モミジ類50本の植樹を行いました。植樹される方に、短冊を渡し、願いを書いて取り付けていただきました。



▲紅葉の植樹を行っている様子

薪割り体験

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

今の時代、薪割り体験する事がないためか、大人も大勢体験していただきました。木のおいも良いと言われて、割った木を持って帰る方もいました。



▲薪割り体験をする子どもたち

しいたけ菌打ち体験

■参加人数：30人

＜プログラムの状況＞

しいたけ菌打ちは大変人気があり、本数も少ないため午前中に終了してしまいました。木の重量があるため、もって帰るのが大変そうでした。



▲しいたけ菌打ち体験の様子

手作り雑貨の体験コーナー

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

イノシシ・シカの皮の体験材料を使って作成しました。予定40人終了後、革製品の販売も行いました。



森林浴バスボム作り

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

子供たちがヒノキの香りのバスボム（入浴剤）作りを楽しく体験しました。



▲バスボム作りを楽しむ子どもたち

森の香り実演

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

森の木々の葉を煮出し、アロマ蒸留器でアロマオイルを抽出し森の香りを楽しみました。



▲アロマ蒸留器でアロマオイルを抽出する様子

アトム手袋つめ放題

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

500円で袋に手袋詰め放題のプログラムに大勢の人が詰めかけていました。



▲手袋つめ放題に夢中です。

New スポーツ紹介と Let's 美 Body

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

バンスポ、エンジョイ、カーブスの各コーナーで楽しく健康づくり。子供たちはスポーツを楽しみ、女性陣はストレッチやダンスで美しい体を目指していました。



▲New スポーツを楽しむ子どもたち

射的ゲーム

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

子どもたちが的を当て景品を取って喜んでいました。



▲射的ゲームの様子

ジビエ BBQ 試食会

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

イノシシの肉でジビエバーベキュー試食会（50食分）を行いました。上級インストラクターによるBBQミニ講座も有料で開催。大勢の方が講座を受けられました。



野菜の苗をもらって 日誌をつけてみよう

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

野菜の苗（100本）と栽培記録用紙を無料で配布。9月の福祉健康まつりに栽培記録用紙を持参すると特典があります。



▲野菜の苗の配布の様子

キャンドル作り

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

キャンドル作りを無料で体験（40人分）。有料のキャンドルの販売も行っていました。



▲キャンドル作りの様子

自主販売エリア

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

自主販売エリアを設けました。大勢の方が楽しんでいました。



▲自主販売の様子

閉会式

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

閉会式では、ひろしま山の日県民の集い実行委員会アドバイザーであり、福山大学グリーンサイエンス研究センター客員教授の中越信和氏に講評をいただきました。講評後、次回開催地の府中市へ山の日フラグの引継ぎが行われました。最後は、来場者の方への感謝の気持ちを込め、紅白の餅まきが行われ、盛況のうち終わることができました。



▲福山大学グリーンサイエンス研究センター客員教授の中越信和氏の講評



▲19回メイン会場開催地 府中市へ山の日フラグの引継ぎ



▲来場者へ感謝の気持ちを込めて、餅まき

記録者：尾久葉 哲秀
(竹原市建設部建設課)

②東広島市会場 東広島市憩いの森公園

全体

■参加人数：360人

＜プログラム状況＞

東広島市会場は、第1回メイン会場として開催して以来連続18回目の開催となりました。会場は、憩いの森公園多目的広場をベースに、龍王山一帯で様々なアクティビティが実施されました。

メインプログラムは「山のグラウンドワーク」で、通算87回目となります。市内の企業や団体、行政関係ら165人が参加し、雑木の伐採、下草刈り、チップ化などに汗を流しました。

また、「東広島山の会」の指導による「初心者のための登山教室」をはじめ、森のネイチャーゲームや野鳥観察も行われ、市民や東広島みどりの少年団の子供たちが参加して楽しみました。

多目的広場では、丸太切り競争や木工教室、龍王山を水源として西条市街を流れる半尾川の水生生物展示やペレットストーブの実演展示にも多くの人が訪れました。県立西条農業高校の一同は、山の手入れへの参加はもとより、学校活動の展示、さらに会場の設営や撤去にも全面的に協力されました。好天に恵まれ、山へのかかわりを強くする集いとなりました。

記録者：薦田 直紀（実行委員会 事務局長）



▲開会挨拶 島 靖英 実行委員長



▲神川 勇人 広島県東広島農林事業所長 挨拶



▲みどりの少年団員と西条農高生による「山の日宣言」



▲船本 昌義さんをリーダーに安全祈願

山のグラウンドワーク

■参加人数：165人

<プログラム状況>

雨梅雨入り直前のうす曇りの天候の下、165人で作業を行うことができました。

今回は、3月のグラウンドワークで整備した「学習の森」の続きの林地で、高木林の育成を目的とした中低木の除伐、下草刈り、もやかきを行いました。除いた草木は作業道に近い班が搬出し、チップパーシュレッダーにかけてチップ加工しました。

■オリエンテーション：「学習の森」に到着後、指導責任者の松浦尚樹さん（賀茂地方森林組合）から、作業目的、作業範囲、各班の配置、安全な除伐作業と伐採した材の棚積み、搬出とチップ化について説明を受けました。今回は、3月のグラウンドワークで整備した場所の続きの林地で、高木林の育成を目的として、低木の伐採、下草刈り、もやかきなどを行いました。低木は地面付近で水平に（切株が鋭利にならないように）伐り、つまづきや踏み抜きの危険を無くすことと、危険な生物のヤマウルシ、スズメバチ、マムシについて、各班のリーダーから個別に説明を受けました。

■伐採作業：各班長の指導のもと、作業を開始。林床のシダ類、萌芽枝、常緑低木の刈り取りをメインとし、倒木やツルの除去、落枝の除去も行いました。作業道に近い場所では伐木や刈草を搬出し、できる限りチップ化し、道から離れた場所では、その場に棚積みしました。

記録者：薦田 直紀（実行委員会 事務局長）



▲各班のリーダーから危険生物について説明を受ける様子



▲シダ類、萌芽枝や常緑低木を中心に刈り取りの様子



▲中低木は2人以上で協力して伐採



▲雑木・刈草をチップパーシュレッダーでチップ化



▲憩いの森での再会を約束し、笑顔いっぱいの記念写真

初心者のための登山教室

■参加人数：25人

<プログラム状況>

多目的広場のスタンド付近に移動し東広島「山の会」の木梨会長から龍王山へ登るコースの説明及び登山で基本的に守ること等の説明がありました。準備体操の後、早速登山開始です。3班に班分けし、10時5分にもみじ谷コースから山頂を目指します。

山登りは初めての人が多く、ゆっくり登ることにしました。天気が良く光り輝く木々の中を進んで行きます。15分程歩いた所で暑くなり制服を脱ぎ衣服の調整をしました。登っている時、山道で出会った人には「こんにちは！」と挨拶し道の避け方などを説明しました。10時55分に山頂到着、子供たちは歓声をあげて喜びました。山頂からの眺めは最高です。西条の街並みをよく見ることができました。広場に集合し点呼を取り、久保さんから登山で一番大切なことは「自分の身を守る」の説明がありました。

11時15分には下山開始、下りるのはハナミズキの森、途中「龍王の名水」でひと休み、多目的広場に12時15分に全員元気に到着しました。子供達のととても楽しかったという声に安堵しました。

記録者：渡邊大輔（東広島山の会）



▲龍王山山頂にて集合写真

森のネイチャーゲーム

■参加人数：22人

<プログラム状況>

みどりの少年団の4年生とネイチャーゲームを

行いました。活動は「私は誰でしょう」と「目かくしイモムシ」「フィールドビンゴ」の3つです。

「私は誰でしょう」では一人ずつ自分の背中に付けられている動物を、言葉のやり取りをしながら当てるゲームです。龍王山に住んでいる生き物なのですが、苦勞しながらも皆なんとか正解。「目かくしイモムシ」では5人ずつが列になって目かくしして歩きます。暖かさや匂い、手触り、足触りなどで自然を観察します。後でどの木を訪れたのか、あーだこうだと確認しあいました。「フィールドビンゴ」では、16個のお題を探しました。昼の時間に、短時間でしたが「生き物ヒントリレー」を行いました。

記録者：浅野敏久（広島大学）



▲蟻地獄を見つけて熱中する子どもたち

森の野鳥を探そう！ (野鳥観察会)

■参加人数：29人

<プログラム状況>

野鳥観察会はみどりの少年団と一般参加者を合わせ10時30分に開始しました。はじめにこの5年間の観察会で見られた主な野鳥の写真を示し、鳴き声を説明しました。観察コースは昨年と同じ、多目的広場からさくらの広場、水辺の森、郷土の森を廻る散策路です。今を盛りと咲くウツギを手始めに観察シーターの森の植物やキノコ、蝶、野鳥などを観察し、その役割や身を守る工夫、命を繋ぐための工夫などを説明し、サルトリイバラの棘やビロードイチゴの実、

クロモジの葉の匂いなど一部体験しながら、野鳥の姿・声を探しました。途中でコゲラが作った巣の穴を双眼鏡で観察しました。幸運なことに、一週間前の下見の時には聴けなかった美しいキビタキの声を再三聴くことが出来、皆さん満足の様子でした。鳴き声のみを含め確認できた野鳥は、コゲラ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ウグイス、センダイムシクイ、メジロ、キビタキの7種でした。昨年7月の豪雨災害のためか、昨年に比べ半減していました。当会のブースでは12時より、27インチのモニターで、会員が撮影した広島県でよく見られる野鳥の画像を展示しました。みどりの少年団員はじめ、ブースの近くを通られる方が、熱心に見られておりました。

記録者：飯田 義彦

(東広島の野鳥と自然に親しむ会)



▲野鳥観察の様子



▲キビタキ

丸太切り競争 木工教室

■参加人数：40人

<プログラム状況>

梅雨入り前の曇天模様ではありましたが、「山のランドワーク」「丸太切り競争」「木工教室」を開催

しました。除伐作業、鋸を使つての丸太切り、釘や金槌を使つての巣箱づくりなど、普段の日常生活ではなかなか経験する機会がない様々な里山体験をされたと思います。この体験を通して自然環境保全作りに関心を持って頂ければと思います。

記録者：松浦 尚樹（賀茂地方森林組合）



▲丸太切り競争の様子



▲木工教室の様子

ペレットストーブの実演展示

■参加人数：多数

<プログラム状況>

今回は、ヤマノイ㈱さんと協力し、広島市でペレットストーブを製造・販売している日鋼設計㈱製のペレットストーブ2台を実演展示しました。会場では、東広島みどりの少年団の子供たちや一般の方々に「カーボンニュートラルで地球にやさしいペレットストーブの良さを知っていただきました。

また、燃料の木質ペレットについては、賀茂地方森林組合さんに提供していただき、ペレットのPRを行うと同時に、今年から増額された東広島市の「薪・ペレットストーブの補助金」をより広く知ってもらうようPRしました。

記録者：日鋼設計株式会社



▲ペレットストーブ

龍王山の名水と仕込み水の利き

■参加人数：70人

<プログラム状況>

龍王山の名水と仕込み水の利き水をしました。
(ひろしま「山の日」県民の集い

東広島市会場実行委員会)



▲仕込み水の利き水の様子

半尾川の生き物展示

■参加人数：170人

<プログラム状況>

昨年に引き続き、龍王山を水源とする半尾川にすむ生き物の展示を行いました。今回はJR山陽本線より少し上流から黒瀬川合流点までの区間で生息が確認されている生き物11種（カメ1種、カエル2種、魚類2種、甲殻類2種、水生昆虫2種、貝類2種）を飼育ケースに入れ、解説とともに展示しました。グランドワークに参加した子供たち、親子連れ、地元にお住まいの方など、たくさんの方にブースに来ていただきました。

記録者：中坪 孝之

(ひがしひろしまモバイルミュージアム)



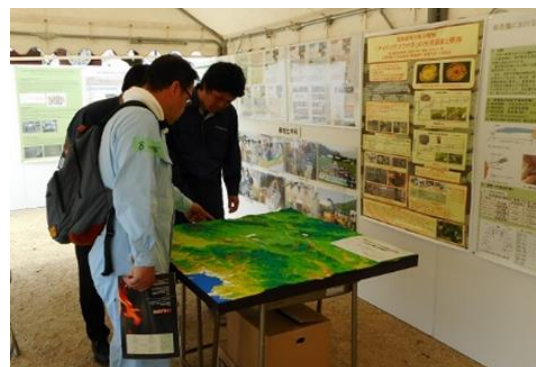
▲生物に興味を持つ子供達

西条農業高校の展示

■参加人数：多数

<プログラム状況>

広島県立西条農業高校緑地土木科の紹介展示



▲西条農業高校緑地土木科の活動紹介

記録者：垣 幸宏（西条農業高校教諭）

③廿日市市会場 県立もみのき森林公園

全体

■参加人数：3,000人

＜プログラム状況＞

曇り空の下、「第18回ひろしま「山の日」県民の集い in はつかいち」が参加者3,000名で開催した。(公園利用者含む)

“安全な森を作ろう！”の合言葉で展開されたこの日のプログラムは、森のネイチャーゲーム、親子でピザを楽しむ会、魚のつかみどり、森のクラフト教室、森のつみ木広場、ポニーと遊ぼう等8種のプログラムなどで盛りだくさんであった。

10時に開催された、開会式では、谷村恭佐実行委員長の開会挨拶に続き、メインイベントの「山の日」宣言は、広島修道大学生の環境ボランティアを代表して中本尚輝さん桑原春香さんの2名が力強く宣誓した。締めくくりは阿品の森サポータークラブの武田佳子さんが作業時の注意点などを発し、安全祈願の「どんぐり！ころころ！」を力強く三唱して式典を終了した。



▲広島修道大学の学生による「山の日宣言」

“安全な森を作ろう！”を合言葉の森の手入れは、広島修道大学の環境ボランティア(140人)及び指導者含めて総勢160名が、宿泊施設「もみのき荘」裏周辺の森の中、班分けしてある森の中へ移動し森の手入れを実施した。今回の森林整備の場所は、野いばら等がたくさん生えていた場所とふじかずら等が木に巻き付いており除伐作業に苦労した様子であった。

また、服装チェックでは半ズボン、半そで姿の学生は見受けられなかった。公園内では「新緑のマラソン大会」や「ラクロスの大会」などが開催したこともあり各イベントブースは、好評を得た。

この日、もみのき森林公園で行なわれた森林の多様性に関する体験活動は、次のとおりです。

○ 森の積み木広場	参加者 54人
○ 森のネイチャーゲーム	参加者 45人
○ 森のクラフト教室	参加者 18人
○ 親子でピザを楽しむ会	参加者 23組
○ 魚のつかみどり	参加者 125人
○ ポニーと遊ぼう	参加者 61人
○ 森のお楽しみ	参加者多数
番外編 新緑のマラソン大会	参加者 223人
番外編 日本ラクロス協会の大会	参加者 237人

記録者：梅田 斉(一般財団法人もみのき森林公園)

安全な森をつくろう！



▲森の手入れ 低い位置からもう一度！

森の積み木広場

■参加人数：54人



魚のつかみどり

■参加人数：125人



森のクラフト教室

■参加人数：18人



ポニーと遊ぼう

■参加人数：61人



親子でピザを楽しむ会

■参加人数：23組



森のお楽しみ

■参加人数：多数



④広島市会場 ひろしま遊学の森（広島県緑化センター）

全体

■参加人数：970人



▲開会式の様子



▲山の日宣言

山の手入れ

■参加人数：32人

＜プログラム状況＞

集いの広場北側山林で三井ボランティアネットワークの人々や白木愛山会など32人が、小さなマツ不要木や株立ち広葉樹の除伐行いました。みなさん、気持ち良い汗が流せたと話されていました。

記録者：行正 高成（広島県緑化センター）



▲徐間伐作業の様子

森を守ろう 間伐・除伐

■参加人数：35人

＜プログラム状況＞

今年も可部南グリーンズみどりの少年団の児童及び役員や父兄を含めて総勢35人により、開会式終了後、「さくらの森」付近に移動して周辺の山林内で除伐作業を行いました。

最初に指導者（緑化センター職員）から作業上の注意点や手ノコの使い方等の説明の後、作業を開始しました。昨年も参加した児童もいて、みんな手際よく作業していました。

記録者：行正 高成（広島県緑化センター）



▲間伐作業後の記念撮影

森のネイチャーゲーム

■参加人数：8人

＜プログラム状況＞

周りの自然をじっくり見てもらいたいと思い、手作りの虫眼鏡のプログラムと、小さい子向けの「ひゆるひゆる」を用意しました。結果、圧倒的に「ひゆるひゆる」が人気で、大人の方も一生懸命作られており、熱心な方は、煤竹でお箸づくりにも挑戦されました。また、会場の一角の樹上でたくさん舞っていた白い昆虫も観察し、「キアシドクガ」という名前の蛾であるということも判明しました。参加者は少なかったですが、ひとり一人の保護者の方と、お話ができました。また、昆虫の嫌いな男の子が「蛾の羽根がきれいだった」と、いつまでも見ていたのが印象的でした。

記録者：住吉 和子

（広島市シェアリングネイチャーの会）

ノルディック・ウォーク体験

■参加人数：4人

＜プログラム状況＞

最初に歩き方、ポールの使い方など基本的な事項について説明がありました。その後、準備運動を済ませ、ウォーキングの基本動作を十分練習して、11時にレストハウス前広場を出発。約1時間、園内をめぐりました。当日のとび入り参加が3名ありました。

ノルディック・ウォーキングは、体力づくり、スタミナアップ、減量などにとっても効果的で、背筋を伸ばして上半身をしっかり使うので、姿勢が良くなり、肩や首のコリの解消などにも有効とのことでした。

記録者：行正 高成（広島県緑化センター）

モーリー・スタンプラリー会

■参加人数：43人

＜プログラム状況＞

スタンプ台を芝生広場（カルミア）、レストハウス前（ヤマボウシ）、管理事務所前（オオモミジ）の3カ所に設置しました。3カ所にはそれぞれ趣きがあり、スタンプラリーの参加者には充分楽しんでいただいたことと思います。スタンプを押して戻れば、花苗又はお菓子がもらえるということで、多くの親子連れが挑戦していました。

記録者：行正 高成（広島県緑化センター）

木工クラフトにチャレンジ

■参加人数：6人

＜プログラム状況＞

木片や小枝、松ぼっくり、どんぐりなど色々な自然素材を準備しました。参加者は、まず自分で材料を選び、接着剤で取り付けたたり、カラーペンで色付けしたり、自由な発想で自然素材を活用しての木工クラフトに熱心に取り組んでいました。

記録者：行正 高成（広島県緑化センター）



▲木工クラフト作業の様子

丸太切り体験

■参加人数：6人

＜プログラム状況＞

丸太切り用には、リュウブの木1本とヒノキの木1本を各々木の枕にカスガイで固定して待機しました。低学年の参加者には、指導者が最初に少しノコ目を入れてから切り始めてもらいました。子供が頑張る姿に両親は声援、切り終わると汗を拭きながら満足そうでした。

記録者：行正 高成（広島県緑化センター）

折り紙ヒコーキとばし

■参加人数：52人

＜プログラム状況＞

芝生広場で実施し、多くの親子連れが参加してくれました。小学校以下のお子さんはアイスクリーム引換券が貰えて大喜び。お父さん、お母さんも子供以上に童心に帰って一生懸命飛ばしていました。

記録者：行正 高成（広島県緑化センター）

木登り体験

■参加人数：12人

＜プログラム状況＞

地上約5mの太い枝に滑車を取り付けてロープを通し、ロープにハーネス（安全帯）をセットしました。体験参加者は小学生とし、ハーネスを装着し地上約4mを目指して木登りに挑戦してもらいました。指導者がロープを操作し、また、登り方のヒントを出して安心安全に体験していただきました。保護者の方は、写真を撮ったり、みなさん、ハラハラドキドキ楽しそうでした。

記録者：行正 高成（広島県緑化センター）

⑤三原市会場 県立中央森林公園

全体

■参加人数：1,300人

＜プログラム状況＞

主催者により山の日宣言がされ、今回で18回目の山の日集いが始まりました。初回からの開催会場であり実践体験できる参加型里山の手入れとし事前に参加者を募りました。一般参加者では、青年男女のグループから小学生の親子連れと幅広い方達10名の参加があり私たちグループと併せて40名で、里山の手入れを行いました。

参加者全員で“どんぐりコロコロ”を三唱して安全祈願を行い里山の手入れ作業にかかりました。現地では、参加者全員に保安帽と腰ノコを身に付けてもらい、里山の手入れの仕方として、伐る木の見分け方と手ノコの使い方について説明し安全な作業の流れとして、木を伐る班、伐った木を運ぶ班、チップーで砕く班の三班に分かれて作業を進めました。

午前中の作業でしたが、林内は木モレ日が差し込む清々しい里山にもどりました。私たちも心地よい汗をかき、改めて里山の手入れの大切さや楽しさを実感した一日でした。

記録者：桒宗 正則

(NPO法人森のおさるさん理事長)



▲開会式の様子



▲里山の手入れ開始



▲木工教室の様子



▲積み木作りの様子



▲イベント・次郎丸太鼓



▲パークスポーツ

森の感謝祭(森の楽校)

■参加人数：129人

＜プログラム状況＞

年に2回開催する「森の感謝祭」、春は4月から6月に変更しての開催となりました。6月ということもあり一般の参加者が少なめではありましたが、新しい体験メニューを追加するなど年々バージョンアップした森の感謝祭となりました。

また、ツリークライミングをはじめこの会場で行いましたが、参加者の方からは「景色がよかった」などの意見をいただき好評でした。秋の感謝祭でも実施し定着していきます。森の中で聴く「オカリナ」そして「ピアノ」の音色がとってもよく、参加者の皆さんもゆっくりした時間を過ごされていました。

記録者：末長 秀紀（備北公園管理センター）



▲▼会場の様子



▲ツリークライミング体験



▲森のピザづくり体験



▲竹のロールパンづくり体験



▲ものづくり体験

⑦福山市会場 ふくやまふれ愛ランド

全体

■参加人数：28人

＜プログラム状況＞

第18回ひろしま「山の日」県民の集いを、6月2日(日)に例年通り「ふくやまふれ愛ランド(福山市赤坂町)」にて開催をしました。当日は、晴天に恵まれ他のイベントも多数開催をしていたこともあり、会場付近は今年もたいへんな賑わいがありました。

福山市会場での開催も13回目を迎えたこともあり、来場者も定着し、山に対する意識は年々高まりを見せています。山や森の大切さの理解を得て、県民の輪を広げる目的は達成出来たものと思います。

開会式では、開会挨拶に続いて、「開会宣言」と「山の日宣言」を地元の若者を代表して古谷 俊英様により大変力強い宣言をして頂きました。

続いて、繁田 健司運営委員長よりご挨拶を頂き、挨拶の中で例年11月に開催の「ふれ愛ランドまつり2019」への参加依頼もありました。同まつりは、2000人以上を集客する大規模なイベントです。

「山のグラウンドワーク」への参加者は28名余りでした。広島県東部森林組合の方で、例年同様、植樹箇所が目印をして頂いたこともあり、植樹(ヤマザクラ)及び樹木の手入れ等がスムーズに実施することができました。

最後に、ひろしま「山の日」県民の集いが盛会で充実した1日で終わることが出来たことは、参加者及び運営へご協力いただいた数多くの関係者の方によるもので有大変感謝致します。

記録者：阿吹 英治(光和物産株式会社)



▲開会式の様子

山のグラウンドワーク (里山の手入れ)

■参加人数：28人

＜プログラム状況＞

開会式終了後は、ヘルメット、スコップ及び手袋を各自に手渡し、昨年と同様の場所を実施することを伝達、続いて当日の作業内容・注意事項を説明しました。その後、現地の山林内(D遊歩道沿い)に移動して植樹を実施しました。参加者は、28名でした。

今年は、「ヤマザクラ」を植樹しました。植樹場所に目印をしていたところは昨年同様に土壌が固く若干の力作業となりましたが、概ね植樹はスムーズに出来たと思います。来年以降の成長が大変楽しみです。

また、当日は、好天に恵まれ程よい汗をかくことが出来ました。

記録者：佐藤 元則(広島県東部森林組合)



▲里山の手入れの様子

⑧三次市会場 酒屋憩いの森・ほしはら山のがっこう（サテライト）

全体

■参加人数：250人

＜プログラム状況＞

第18回ひろしま「山の日」県民の集い三次市会場は、6月2日（日）に酒屋憩いの森を会場として行いました。開会式では、市内小学校の児童2名が「山の日宣言」を元気に読み上げてくれました。参加者はまず、森の手入れをするためにノコギリを手に森林内へ入りました。森林組合職員の指導を受け、切り倒す木を自分たちで選び、自分たちで切り倒しました。ノコギリを使ったことがない人もたくさんいましたが、自分が切った木が倒れる瞬間は、歓声を上げて喜んでいました。

「自然観察会」では、いこいの森の散策道を一周しながら植物を観察し、講師の松田先生と坂田先生（県林業技術センター）の説明に興味深く聞いていました。

「木工クラフト」では、キーホルダーやカブトムシを作りました。糸鋸などの道具を使いこなし、素晴らしい作品を完成させていました。

「木登り体験」では、馬洗川自然塾の指導を受け、木の上に設置されたツリーハウスへ特設の階段で登り、上った後はターザンロープで滑降しました。今年も行列ができるほどたくさんの人でにぎわいました。

その他に、災害時に使用できるエコストーブの展示を行い、地元の JA 女性部の方が作ったカレーなどをみんなで試食しました。

また、サテライト会場のほしはら山のがっこうでは、「森のミニ整備」、「ツリーイング体験」、「ネイチャーゲーム」などを行いました。

山の日イベントを通じて、参加者の皆様には山や自然について関心を深めていただいたものと思います。

記録者：横山 大（三次市産業環境部農政課）



▲山の日宣言



▲森の手入れ



▲自然観察の様子



▲木工クラフト



▲木登り



▲エコストーブ

⑨呉市会場 野呂山（野呂高原ロッジ周辺）

全体

■参加人数：１７０人

＜プログラム状況＞

合計170名の方にご参加頂きました。心配された雨も降ることなく、各イベントは滞りなく実施され、多くの方に山に関心をもってもらう事ができたと思います。山の手入によりヒノキ林は健全な状態に保たれました。切った雑木はチップーにて砕きました。

山の手入れ参加者の半数は、途中より奇岩「大重岩」まで往復１時間のハイキングを楽しみました。

ネイチャーゲーム、丸太切りは多くのご家族に参加頂きました。ネイチャーゲームでは子供たちの笑顔があふれ、丸太切りは多少切るのに苦労しながらも達成感を味わっていただきました。切った丸太には、山の日の焼印を押し、記念品としてお渡ししました。

- 全体 170 人
- 山の手入れ 49 人
- ネイチャーゲーム(丸太切りと途中で交代) 121 人
- 丸太切り(ネイチャーゲームと途中で交代) 121 人
- ハイキング(山の手入れ途中より実施) 39 人

記録者：橋本 彰光(中国木材株式会社)



▲集合写真



▲ネイチャーゲーム



▲ハイキング



▲丸太切り



▲山の手入れ



▲山の日の焼印を押している様子

全体

■参加人数：246人

＜プログラム状況＞

北広島町八幡高原では3つのプログラムを実施しました。

青空のもとコナラ広場で開会式から始まりました。ひろしま山の日がスタートした経緯、安全上の注意、そしておなじみの「ひろしま山の日県民の集い」の「山の日宣言」は、山を愛するご夫婦による微笑ましい宣言となりました。

高原の自然館前の広場では、日本山岳会広島支部のみなさんが、毎年子どもたちと木のふれあいを目的に実施しています。コナラの木を使ったロープクライミングと、木登りからのジップライン、そして単純だけど面白いロープ渡りの3つのアクティビティがあります。来場者の中には、5歳の時からの常連さんもいて、スタッフから「大きくなったね」という声がかかります。また、「昨年楽しかったから」というリピーターのご家族や、「ちょっと怖いけど楽しかった」という地元の小学生の声も聞こえて来ました。このように、毎年開催することで繋がりが生まれたり、子供たちが自然の中でのびのび過ごす様子に元気をもらったりと、充実感にあふれるプログラムとなりました。

2つ目のプログラムは、霧ヶ谷湿原での作業である自然再生地の保全活動です。こちらは、八幡湿原自然再生協議会や日本山岳会広島支部をはじめとするボランティアのみなさんのお力添えで、湿原再生のための低木伐採や除去の作業が実施されました。

湿原は保水や洪水を防止する役割があり、動植物にとっても重要な生育・生息地です。霧ヶ谷湿原の保全作業を通じて、山と森や里、川とのつながりを感じることができたと思います。今回の反省では、ナタによる怪我人が発生したことです。さらに安全意識を高め、事故が起こらないような工夫を次年度に活かしていきます。

3つ目のプログラムは、この時期多くの来訪者が訪れる「芸北 高原の自然館」の中で行われました。日本植物学の父と言われる牧野富太郎博士にまつわる掛け軸や、森林に生息するいきものに関する展示や解説、地域の木材ホオノキで作るマイスプーンの

ワークショップなどを行いました。

八幡高原を取り囲む山々を知り、身近な里山の整備や木材の活用を通じて、山の大切さや、自然への関心が高まるお手伝いをこれからも続けていきたいと思います。

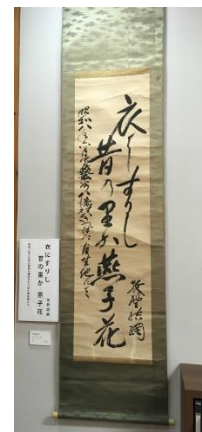
記録者：河野弥生(NPO 法人西中国山地自然史研究会)



▲ジュニア・ツリークライミング体験の様子



▲霧ヶ谷湿原自然再生活動をした直後の集合写真



▲牧野富太郎博士にまつわる掛け軸の展示

⑪安芸太田町会場 深入山グリーンシャワー

全体

■参加人数：600人

＜プログラムの状況＞

第18回ひろしま「山の日」県民の集い『森カフェ in あきおた』は深入山グリーンシャワーをサテライト会場として開催しました。

当日は、約600名の方々にご来場いただき、森林セラピー体験、森林ヨガ、自然観察会等のフィールドを活用した体験メニューに加え、薪割り体験、しいたけ菌打ち体験等の会場内でもできる体験会を行いました。

今年のクラフトコーナーでは、木工教室やカトラリーづくり、アロマづくりを実施し、多くの方々に楽しんでいただきました。

今年は、筒賀小学校緑の少年団による山の日宣言や自然・環境を守るための啓発看板の設置を行いました。

記録者：佐々木 秀徳（安芸太田町産業振興課）



▲開会式 安芸太田町長 小坂 眞治 挨拶



▲森林セラピー体験



▲森のコンサート
(広島アルプホルンクラブによる演奏)



▲木工教室



▲森林セラピーヨガ



▲自然観察会



▲薪割り体験



▲カトラリー

⑫大竹市会場 マロンの里交流館

全体

■参加人数：1,500人

＜プログラムの状況＞

ステージプログラム

○開会式

開会宣言やご来賓あいさつ後、大竹市の伝統芸能である亀居城太鼓の勇壮な演奏からステージプログラムが開始され、ビューティフルメリアによる海辺のイメージがあるフラダンスで山の中で一際輝きを見せていました。



▲ビューティフルメリアによるフラダンス

○音楽関係ステージイベント

ザ・ギブ&プレゼンツによるバンド演奏が行われ、軽妙なトークと、大竹愛に満ちた歌詞に会場は大盛り上がりしました。また、大竹市民吹奏楽倶楽部による演奏や市内のコーラスグループから参加者を募り山の日コーラスが行われました。楽器の調が心地よく栗谷に響き、会場内を沸かせました。



▲大竹市民吹奏楽倶楽部



▲山の日コーラスの様子

○山トーク

メインイベントである山トークを行ないました。今回は『災害と森林』についてのトークと三倉岳登山者によるトークが行われました。



▲山トークの様子

○お楽しみ抽選会

地元の特産品等が当たる抽選会を行いました。当選番号が読み上げられるたびに歓声が上がリ大盛況でした。



▲抽選会の様子

記念にどうぞ！植栽体験

■参加人数：50人

担当グループ：三倉岳県立自然公園協議会
大竹市産業振興課

＜プログラムの状況＞

平成30年度に結婚または出産をした方を対象に、三倉岳休憩所付近に植栽を行いました。



▲植栽体験

山の中のヨガ教室

■参加人数：10人

担当グループ：ヨガ教室チャンドラ

＜プログラムの状況＞

マロンの里交流館内でヨガ教室を行ないました。自然豊かな場所で行うヨガに参加者は、ゆったりとした時間を過ごしていました。

初心者の為の三倉岳登山

■参加人数：53人

担当グループ：大竹山の会

＜プログラムの状況＞

三倉岳登山口に集合し準備体操を行った後、登山を行いました。山に詳しい方のガイド付きとあって参加者からは大好評でした。今年は今年の豪雨の影響で1ルートのみで開催となりました。



▲三倉岳登山集合の様子

木製マガジンラック作成体験

■参加人数：45人

担当グループ：産業振興課

＜プログラムの状況＞

釘や接着剤を使わないマガジンラックのキットを用意し、作成してもらいました。木製品の良さを知ってもらえる良い機会となりました。



▲体験の様子

木工クラフト作成体験

■参加人数：100人

担当グループ：産業振興課

＜プログラムの状況＞

木工クラフト体験を行いました。木の枝などを使って自分だけの動物模型等を作成してもらいました。



▲木工クラフト

手すき和紙体験

■参加人数：70人

担当グループ：おおたけ手すき和紙保存会

＜プログラムの状況＞

大竹市の伝統工芸である手すき和紙の作成を体験してもらいました。大竹市の伝統工芸を知ってもらう良い機会となりました。



▲手すき和紙体験

あそんでみよう！ 木のおもちゃ体験コーナー &VR で三倉岳

■参加人数：１３０人

担当グループ：産業振興課

＜プログラムの状況＞

今では少なくなった木製のおもちゃに触れてもらい、木製品の良さを改めて認識してもらいました。また、三倉岳頂上からの景色を VR 体験できるプログラムを新たに行いました。



▲木のおもちゃで遊んでいる子どもたち

竹水てっぽうであそぼう！

■参加人数：１７０人

担当グループ：産業振興課

＜プログラムの状況＞

昔ながらの竹水てっぽうを用意し、的当てゲームを行いました。



▲竹の水てっぽうで遊ぶ子どもたち

ツリークライミング体験

■参加人数：１２０人

担当グループ：佐伯森林組合

＜プログラムの状況＞

３年目に突入した人気プログラム。普段とは違った目線で木や森を見ることができ、子供たちは大喜びでした。



▲ツリークライミング

しいたけ菌打ち体験

■参加人数：５０人

担当グループ：西日本造園・二階堂商事

＜プログラムの状況＞

しいたけの菌打ちを体験してもらいました。



▲しいたけ菌打ち体験

記録者：菊本 紘生（大竹市総務部産業振興課）

⑬世羅町会場 道の駅世羅・せら夢公園

全体

■参加人数：600人

＜プログラムの状況＞

第18回ひろしま「山の日」県民の集い世羅町会場を道の駅世羅・せら夢公園で開催しました。開会式では、曾我春雄実行委員長による開会挨拶、奥田正和町長による祝辞があり、世羅町観光協会の西原淳氏による山の日宣言が行われ、行事を開始しました。当日は、親子連れを中心に2会場合わせて約600人の方々にご来場いただき、約200人が体験活動に参加しました。道の駅世羅会場では、「山の日本木工体験」「しいたけ菌打ち体験」「スウェーデントーチ作り体験」「クラフト教室」「薪づくり体験」の5つのプログラムを行い、せら夢公園会場では、「初夏のチョウを観察しよう！」の森林・林業体験プログラムを行いました。子どもから大人まで幅広い世代の方々に山に親しんでいただくことができました。

記録者：向田 あんな（世羅町産業振興課）



▲開会挨拶 曾我春雄実行委員長



▲祝辞 奥田正和町長



▲山の日宣言 世羅町観光協会 西原 淳氏



▲世羅町会場の様子



▲閉会挨拶 岡本信正実行委員

山の日木工体験

■参加人数：26人

＜プログラムの状況＞

広島県産材を使用したマガジンラックやフラワースタンドの木工体験を行いました。マガジンラックやフラワースタンド完成後は、好きなイラストを描くなどして、オリジナルの作品を作成し、とても満足していただけました。また、木製品の良さを皆さんに知っていただく良い機会となりました。



▲木工体験

しいたけ菌打ち体験

■参加人数：42名

＜プログラムの状況＞

しいたけ原木を利用して、しいたけドリルによる穴あけ、菌打ち体験を行いました。参加人数が一番多い体験プログラムとなり、参加者の中には初めて菌打ちに挑戦される方もおられました。



▲しいたけ菌打ち体験

薪づくり体験

■参加人数：10人

＜プログラムの状況＞

薪割り体験は斧やキンダリングクラッカーを使って行いました。参加者は、「薪の中心を捉えるのが難しいがきれいに割れると嬉しい」などと、とても楽しそうに体験をしていました。



▲薪づくり体験

スウェーデントーチ作り体験

■参加人数：8人

＜プログラムの状況＞

キャンプなどで使用するスウェーデントーチを作成しました。普段あまり触れることのないチェーンソーを使用した体験プログラムで、安全面に注意しながら、楽しく作成していただくことができました。



▲スウェーデントーチ作り体験

クラフト教室

■参加人数：20人

＜プログラムの状況＞

ビー玉迷路や木のパズルの作成を行いました。親子ずれの参加者が多い体験プログラムとなり、作成後は親子で遊ぶ風景が多く見うけられました。



▲クラフト教室

初夏のチョウを観察しよう！

■参加人数：21人

＜プログラムの状況＞

せら夢公園の自然観察園で初夏のチョウの観察会を行いました。プログラムを第1部・第2部と分けて行い、自然観察園の各ポイントで講師の方から説明があり、カメラを片手に多くの参加者にせら高原の自然に親しんでいただくことができました。



▲チョウの観察会

神峰山ウォーク

■参加人数：110人

＜プログラムの状況＞

ひろしま「山の日」県民の集い大崎上島町会場は、大崎上島町観光協会主催の神峰山ウォークを実施し、110名の方々にご参加いただきました。今年の神峰山ウォークは、「てっぺんで会いましょう」をテーマに実施し、登るコースも、手段も、誰と登るかも、自由に実施してもらいました。11時半ごろまでに参加者の皆さんが第1展望台に集合していただきました。曇り空ではありますが、各展望台からは素晴らしい眺めをみることができ12時～13時の間に第1展望台にて、記念品としてオリジナルバッチを渡し、島の食材のトマトやイチゴ、島のオリジナルスカッシュの振舞を行いました。また、島の食材をつかったお弁当の事前予約を承り、神峰山からの景色とともに島の食材も楽しんでいただきました。さらにオリジナルソング「神峰山」を披露し、山頂にて、みなさんと音楽を楽しみました。

記録者：反岡 和宏（大崎上島町観光協会）



▲お友達と参加、神峰山登山中



▲藤原農園さんのイチゴ、
亀田農園・越田農園さんのトマト振る舞い
神峰山山頂



▲オリジナルソング「神峰山」のライブの様子
神峰山山頂



▲神峰山山頂 会場全体の様子

野登呂山ハイキング

■参加人数：100人

＜プログラムの状況＞

江田島市会場では、江田島市最高峰（542.0m）である「野登呂山」において、ハイキングを実施しました。江田島市在住の方のほか、呉市、広島市、廿日市市など市外から総勢69名の方が参加しました。

日頃から野登呂山の山頂付近において森林整備活動を行っている「野登呂山森保全の会」のメンバーが、ハイキング開催日までに登山道の整備を実施しました。また、当日は、地元の登山家たちで構成する「江田島トレッキング倶楽部」の会員の方々が、参加者が無事に完歩できるようガイドを務め、参加者の全員が無事に完歩することができました。

参加者は、山頂から眺望できる瀬戸内の多島美を堪能しただけでなく、地元の「迫製麺所」の自家製麺を使った江田島市名物「大豆うどん」を食べ、往路での疲れを癒し、復路も元気よく完歩しました。

参加者にとって、思い出の一日となったことでしょう。

記録者：久保 俊輔（江田島市産業部農林水産課）



▲挨拶を行う明岳周作市長と参加者の皆さん



▲ウォーキングの様子

8歳の小学生も大人と一緒に頑張りました。



▲ウォーキングの様子



▲山頂での一コマ

山頂から見た瀬戸内の多島美は絶景でした。



▲江田島市名物「大豆うどん」が振る舞われました。



▲地元の方が歌を歌ってくれました。

3. 実行委員

実行委員会（全体）

■アドバイザー

城納 一昭 元・広島県副知事 マツダ㈱取締役
中越 信和 福山大学グリーンサイエンス研究センター
客員教授 広島大学名誉教授
伊藤 利彦 愛する熱帯多雨林のために再生紙で名刺を
作る会 幹事 元・広島市収入役
山崎 裕美 広島県農林水産局 森林保全課 課長
奥迫 輝昭 (公社)広島県みどり推進機構 事務局長
岡谷 義則 中国新聞社 代表取締役社長
畑矢 健治 (株)中国放送 代表取締役社長

■会長

前垣 壽男 西条・山と水の環境機構 理事長

■副会長

内海 康仁 光和物産株式会社 代表取締役社長
櫻井 充弘 ひろしま人と樹の会 事務局長
瀬川 千代子 エコロジー研究会 事務局長
山田 雅昭 (一社)広島県山岳・スポーツライミング連盟会長
箕田 英紀 三次市酒屋地区自治連合会会長、
エコパークの森づくり副実行委員長
空谷 正樹 ㈱純正食品マルシマ 代表取締役社長
福島 偉人 株式会社有斐園 取締役会長
堀川 保幸 中国木材株式会社 代表取締役会長
八谷 文策 NPO 法人森のバイオマス研究会 監事

■委員

赤木 茂 光和物産(株) 取締役総務部長
秋山 浩三 広島県シェアリングネイチャー協会 事務局長
井上 年光 阿品の森サポータークラブ 事務局長
齋 陽 (公社)日本山岳会広島支部 支部長
井上 年光 阿品の森サポータークラブ 会長
奥野 悟 (公財)オイスカ広島県支部 事務局長
小川 俊章 中国木材株式会社 総務課長
小田 里子 (一社)広島県山岳・スポーツライミング連盟
普及部 部長
副島 靖夫 ひろしま遊学の森(広島市森林公園) 園長
近藤 紘史 NPO法人西中国山地自然史研究会 代表
河野 弥生 NPO法人西中国山地自然史研究会
柴田 壮太郎 エコロジー研究会ひろしま
仙田 信吾 ㈱RCC フロンティア 代表取締役社長
谷村 恭佐 (一財)もみのき森林公園協会 理事長
吉田 幸 株式会社中国放送 総務局広報部長
野本 利夫 NPO 法人ゆあーず「食」未来研究所 理事長
林 高正 板橋さとやま倶楽部 理事長
藤原 道伸 大崎上島町 建設課 課長
行正 直樹 三次市産業部農政課 課長
宮岡 泰久 サポート・トレッキング・グループ 会長
渡部 英美 (株)中国新聞企画サービス 課長
中嶋 剛二 広島県森林インストラクター連絡協議会
野島 信隆 (一社)広島県山岳・スポーツライミング連盟
副会長
(公社)日本山岳会広島支部 副支部長
(一社)広島県山岳・スポーツライミング連盟
福永 やす子 世羅町産業振興課 課長
升行 真路 安芸太田町産業振興課 課長
瀬川 善博 大竹市総務部産業振興課
菊本 紘生 中央森林公園協会常務理事 兼事務局長
行森 章 江田島市産業部農林水産課 課長
泊野 秀三

■監事

梅田 斉 (一財)もみのき森林公園協会 事務局長

■事務局（委員兼任:事務局長）

山本 祐二 NPO 法人ひろしま NPO センター 常務理事

各会場実行委員会

□竹原市会場実行委員会

■実行委員長 田所 一三 竹原市 副市長
■副委員長 日向 輝武 竹原山岳会 会長
■事務局長 大田 哲也 竹原市建設部 課長

□東広島市会場実行委員会

■実行委員長 島 靖英 西条・山と水の環境機構 運営委員
■副委員長 浅野 敏久 広島大学大学院総合科学研究科 教授
呉・東広島シェアリングネイチャーの会
■運営委員長 松浦 尚樹 賀茂地方森林組合
■事務局長 薦田 直紀 (一社)サステナブル地域づくりセンター・
HIROSHIMA 代表理事

□廿日市市会場実行委員会

■実行委員長 谷村 恭佐 (一財)もみのき森林公園協会 理事長
■副委員長 井上 年光 阿品の森サポータークラブ 会長
■事務局長 梅田 斉 (一財)もみのき森林公園協会 事務局長

□広島市(広島市森林公園)会場実行委員会

■実行委員長 副島 靖夫 広島市森林公園 園長
■副委員長 下 博文 広島市森林公園 副園長
■運営委員長 桑原 清二 フォレストクラブ森守
■事務局長 桑田 莊一郎 広島市森林公園

□広島市(広島県緑化センター)会場実行委員会

■実行委員長 正本 大 みずえ緑地㈱ 代表取締役社長
■副委員長・事務局長 山根 道廣 広島県緑化センター 所長
■運営委員長 行正 高成 広島県緑化センター
■運営副委員長 小林 俊幸 広島県緑化センター
■事務局長 山根 道廣 広島県緑化センター

□三原市会場実行委員会

■実行委員長

福島 偉人 株式会社有斐園 取締役会長
■副委員長
吉川 進 三原市経済部 部長
■運営委員長
榊宗 正則 NPO 法人森のおさるさん 理事長
■運営副委員長
山下 正健 三原市シルバー人材センター本郷支所長
■事務局長
行森 章 (一財)中央森林公園協会 常務理事
兼事務局長

□庄原市会場実行委員会

■事務局

末長 秀紀 備北公園管理センター企画広報課

□福山市会場実行委員会

■実行委員長

内海 康仁 光和物産(株) 取締役社長
■副委員長
赤木 茂 光和物産(株) 取締役総務部長
■運営委員長
繁田 健司 光和物産株式会社
■事務局長
赤木 茂 光和物産(株) 取締役総務部長

□三次市会場実行委員会

■実行委員長

箕田 英紀 三次市酒屋地区自治連合会 会長
酒屋森づくり実行委員会 委員長
■事務局長
行政 直樹 三次市産業環境部農政課 課長

□呉市会場実行委員会

■実行委員長

堀川 保幸 中国木材(株) 代表取締役会長
■副委員長
佐藤 一教 三菱日立パワーシステムズ呉工場エコクラブ
■運営委員長
宮岡 泰久 サポート・トレッキング・グループ 会長
■副運営委員長
遠藤 勇人 三菱日立パワーシステムズ呉工場エコクラブ
■事務局長
小川 俊章 中国木材株式会社 人事・総務部
人事課長

□北広島町八幡高原会場実行委員会

■実行委員長

近藤 紘史 NPO 法人西中国山地自然史研究会
理事長

■事務局長

河野 弥生 NPO 法人西中国山地自然史研究会

□安芸高田市会場実行委員会

■事務局

藤堂 洋介 安芸高田市産業振興部農林水産課

□安芸太田町会場実行委員会

■実行委員長

佐々木 徹 太田川森林組合 代表理事組合長
■副委員長
大倉 啓司 安芸太田町ヘルスツーリズム推進協議会
情報宣伝部 会長
■事務局長
瀬川 善博 安芸太田町産業振興課 課長

□大竹市会場実行委員会

■事務局

菊本 紘生 大竹市産業部 産業振興課

□世羅町会場実行委員会

■実行委員長

曾我 春雄 世羅郡森林組合 代表理事組合長
■副委員長
黒木 和昭 世羅郡森林組合 副組合長
■事務局長
升行 真路 世羅町産業振興課 課長

□大崎上島町会場実行委員会

■実行委員長

河野 亮三 大崎上島町の森づくり事業推進協議会
会長
■事務局長
藤原 通伸 大崎上島町 建設課 課長

□江田島市会場実行委員会

■実行委員長

伊藤 富美雄 江田島市観光協会 会長
■副委員長
越智 剛 古鷹フレンドシップクラブ 理事長
■事務局長
泊野 秀三 江田島市産業部農林水産課 課長

※以上、2019年6月2日時点での委員及び所属等を記載しております。
たくさんの方々に協力していただき行事を行なうことができました。
心より感謝申し上げます。

4. ひろしま「山の日」県民の集いの歩み

1. 「山の日」のきっかけ

森林ボランティアに関わる人たちが全国から集まり、第7回森林と市民を結ぶ全国の集い（会期：2002年2月9日～11日 開催場所：広島県東広島市とその周辺 主催：第7回森林と市民を結ぶ県民の集い実行委員会他 総参加者：2,294人）が開催されました。その初日のシンポジウムにおいて、パネリストの1人から「山の日」をつくろうとの提案がされました。

提案を受け、分科会等での議論等を経て、集いの締めくくりに、私たちからのメッセージとし「6月の第一日曜日を山の日として、その日は山に関わろう」というメッセージを発信しました。

2. ひろしま「山の日」県民の集いの積み重ね

山の大切さをできるだけ多くの人たちに知っていただきたい。そのきっかけづくりとしてひろしま「山の日」県民の集いを広島県内各地の会場で開催しています。第1回～4回までは、広島県内1ヶ所の会場で開催していました。第5回以降、・メイン会場と・サテライト会場方式として県内数ヶ所で同時開催、現在あわせて1万3千人が参加する行事になっています。

回数	日時	場所	参加者 (人)	主催
1	2002年6月1日(土)・ 2日(日)	東広島市	1,500	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会
2	2003年6月7日(土)・ 8日(日)	廿日市市	3,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会
3	2004年6月5日(土)・ 6日(日)	広島市	2,400	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会
4	2005年10月15日(土)・ 16日(日)	三原市	5,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、平成 17年度広島県植樹祭実 行委員会
5	2006年10月22日(日) ※全国育樹祭と連携	○メイン会場：庄原市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、三原 市	11,700	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社
6	2007年10月20日(土)・ 21日(日)	○メイン会場：福山市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、三原 市、庄原市	10,110	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社

7	2008 年 10 月 18 日 (土)・ 19 日 (日)	○メイン会場：三次市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市、三原市、 庄原市、福山市	10,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社
8	2009 年 6 月 6 日 (土)・ 7 日 (日)	○メイン会場：呉市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市 (2)、三原 市、庄原市、福山市、三次市	7,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
9	2010 年 6 月 5 日 (土)・ 6 日 (日)	○メイン会場：北広島町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市 (2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市	8,600	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
10	2011 年 6 月 4 日 (土)・ 5 日 (日) ※第 10 回記念行事	広島市 (記念講演会) 東広島市、廿日市市、広島市 (2)、三原市、庄原市、福山 市、三次市、呉市、北広 島町	11,600	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
11	2012 年 6 月 2 日 (土)・ 3 日 (日)	○メイン会場：尾道市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市 (2)、三原市、 庄原市、福山市、三次市、呉 市、北広島町	7,000 ※朝、雨	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
12	2013 年 6 月 1 日 (土)・ 2 日 (日)	○メイン会場：安芸高田市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市 (2)、三原市、 庄原市、福山市、三次市、呉市、 北広島町、尾道市	3,200 ※終日雨天	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
13	2014 年 5 月 31 日 (土)・ 6 月 1 日 (日)	○メイン会場：安芸太田町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市 (2)、三原市、 庄原市、福山市、三次市、呉市、 北広島町、尾道市、安芸高田市	9,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送

14	2015年6月6日(土)・ 6月7日(日)	○メイン会場：大竹市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、三原市、 庄原市 福山市、三次市(2)、 呉市、北広島町、尾道市、 安芸高田市、安芸太田町	10,540	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
15	2016年6月4日(土)・ 6月5日(日)	○メイン会場：世羅町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、三原市、 庄原市、福山市、三次市、呉市、 北広島町、尾道市、安芸高田市、 安芸太田町、大竹市	7,120	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
16	2017年6月3日(土)・ 6月4日(日)	○メイン会場：大崎上島町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、三原市、 福山市、三次市、呉市、北広島 町、尾道市、安芸高田市、安芸 太田町、大竹市、世羅町	10,860	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
17	2018年6月3日(日)	○メイン会場：江田島市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、三原市、 庄原市、福山市、三次市、呉市、 北広島町、安芸高田市、 安芸太田町、大竹市、世羅町、 大崎上島町	11,710	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
18	2019年6月2日(日)	○メイン会場：竹原市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(注)、三原市、 庄原市、福山市、三次市、呉市、 北広島町、安芸太田町、大竹市、 世羅町、大崎上島町、江田島市 (注)2018年7月豪雨災害の為、 広島市森林公園会場は未開催	13,640	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送

※但し、参加者は10人台で計数しています。

第 18 回ひろしま「山の日」県民の集いの記録

- 発行日 2019 年 9 月 1 日
 - 発行・編集 ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
 - 監修 中越 信和（福山大学 客員教授）
 - 事務局 〒730-0013 広島市中区八丁堀 3－1
TEL:082-511-3180 FAX:082-511-3179
e-mail:info@yamanohi.com
-



- 山の日ロゴ: 山と人との調和をモチーフにデザイン開発。
基本カラーはエコグリーン。
デザインは木原実行さん。



(この行事は、「ひろしまの森づくり県民税」を活用して開催しています。)

ひろしまの森づくりキャラクター
モーリー

